

令和2年度(2020年度)

管理事業名	精神保健事業			総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 4 健康・医療のまちづくり 施策 1 健康づくりの推進
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 04	衛生費	(項) 01	保健衛生費 (目) 10 保健事業費
部局名	健康医療部	予算執行所属	地域保健課		
予算大事業名	精神保健事業				
精神保健事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
事業の目的と概要 【目的】 精神障がい者の早期治療の促進及び社会復帰を援助するための相談や訪問指導を行うとともに、自殺対策や依存症対策等、市民のこころの健康の保持・増進を図ります。 【概要】 ・精神保健福祉士等による相談事業(不安、ストレス及びアルコール依存等に関する相談) ・自殺対策に係る各種会議の開催(自殺対策推進庁内会議、自殺対策推進庁内会議実務担当者会議、自殺対策推進懇談会等) ・自殺対策に係る研修等の実施(ゲートキーパー養成研修、各種啓発活動)					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
こころの健康相談件数	件	-	-	3,794	精神保健グループ(精神保健福祉相談員、保健師、医師、心理士)において対応したこころの健康相談(電話、面接、訪問)延件数
精神保健に関する講演会参加者数	人	-	-	80	精神保健に関する講演会への参加者数の合計
成果の説明	予定していた市民や関係機関職員対象の講演会を新型コロナウイルスの影響により中止したため、参加者数が減少しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	495	495
経常収入	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	495	495
給与関係費	-	-	34,664	34,664
物件費	-	-	393	393
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	3,481	3,481
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
費用	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	3,007	3,007
退職手当引当金繰入額	-	-	31,442	31,442
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	72,987	72,987
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△72,492	△72,492
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△72,492	△72,492
一般財源充当額	-	-	40,861	40,861
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	△31,631	△31,631

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
府支出金(経常費用充当)	自殺対策強化事業交付金 122千円 措置診察立会事務交付金 373千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	495	495
行政サービス活動支出	-	-	41,355	41,355
行政サービス活動収支差額	-	-	△40,861	△40,861
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	-	-	△40,861	△40,861
一般財源充当額	-	-	40,861	40,861
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動支出)
	こころの健康相談報酬 3,367千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
こころの健康相談を利用した相談者1人あたりのコスト	平成30年度		円	こころの健康相談を利用した相談者1人あたり19,237円のコストがかかっています。
	令和元年度		円	
	令和2年度	3,794人	19,237円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	-	3,007	3,007
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	3,007	3,007
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その流動資産	-	-	-	その流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	有形固定資産	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	-	28,624	28,624
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	-	28,624	28,624
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
固定資産	-	-	-	その固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	-	31,631	31,631
土地	-	-	-	純資産	-	△31,631	△31,631
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
重要物品	-	-	-	基金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	その他債権	-	-	-
重要物品	-	-	-	資産の部合計	-	-	-
図書館資料	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

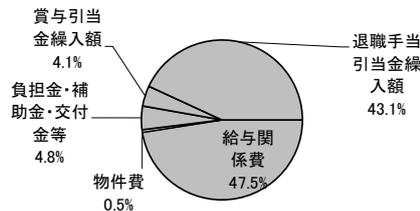
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	4.83 人			
給与関係費等	69,113 千円	0 千円	0 千円	合計(千円) 69,113
内、時間外勤務手当	0 千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

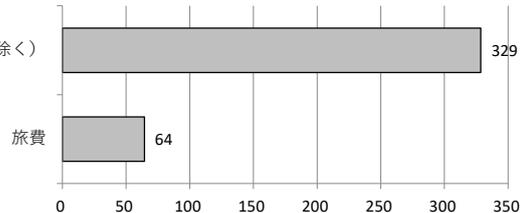
勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



需用費(修繕費を除く)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	-	98.8	98.8

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

事業の財源は、ほぼすべてが一般財源です。
 経常経費のうち、こころの健康相談の報酬が大半を占めています。
 精神保健事業が、令和2年4月1日に吹田市が中核市に移行したことに伴って開始した事業のため、行政コスト計算書等の各表の過年度の数値が表示されていません。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

市民のこころの健康の保持・増進を図るため、今後も相談体制の確立、啓発活動、ゲートキーパー等の各種研修の実施等に取り組んでいく必要があると考えています。